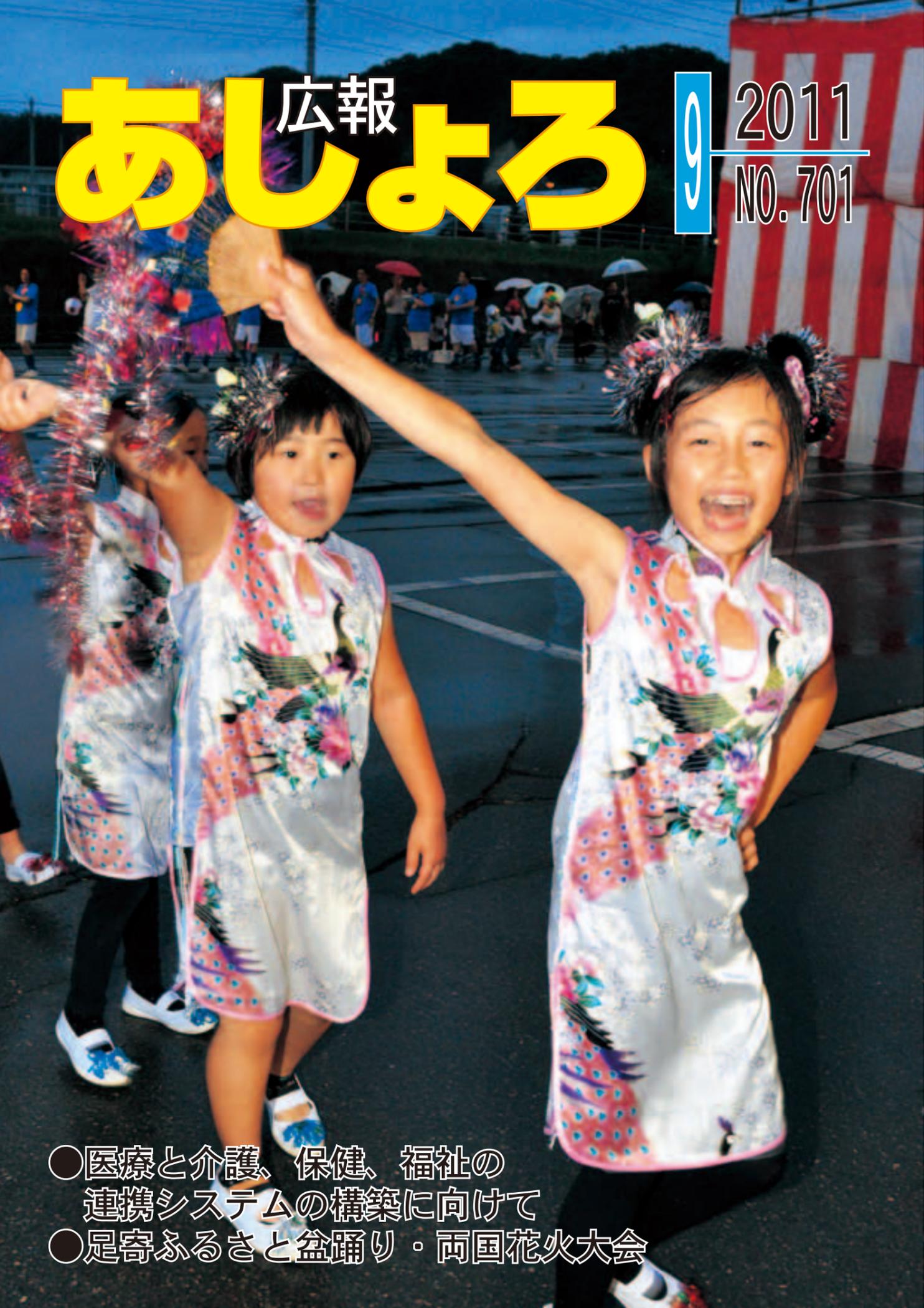


広報 あしよる

9 2011
NO. 701



- 医療と介護、保健、福祉の連携システムの構築に向けて
- 足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会

医療と介護、保健、福祉の連携システムの構築に向けて

平成22年4月、「いつまでも安心して暮らせる町づくり」を目指し、「医療と介護・保健・福祉の連携システムの構築」の取り組みが始まりました。これまでの経過とこれからの取り組みをご紹介します。

人口と高齢化率

足寄町の人口は昭和35年に19,385人、85人を数え、その後次第に減少し、50年を経過した現在は、昭和35年の約40%、7,700人台となっています。全体の人口に占める65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）は、昭和35年当時4%でした。しかし、現在では33%を超える状況にあります。また、団塊世代の方々が75歳以上となる平成37年の予測人口は6,000人を割り、高齢化率は45%を超えるものと推計されています。

65歳から75歳未満の方を前期高齢者、75歳以上の方を後期高齢者と位置付けられています。平成18年を境に後期高齢者数が前期高齢者数を上回るとい

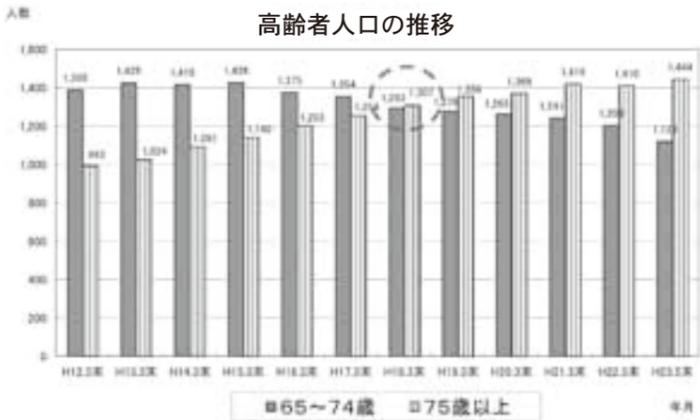
う人口構成に変化しています。

本町の人口と高齢化率の推移（国勢調査調べ）

	人口数	老年人口	老年人口率
昭和30年	19,191	587	3%
昭和35年	19,385	685	4%
昭和40年	17,214	786	5%
昭和45年	15,172	817	5%
昭和50年	13,525	914	8%
昭和55年	12,667	1,079	9%
昭和60年	11,586	1,332	11%
平成2年	10,289	1,635	16%
平成7年	9,522	1,997	21%
平成12年	8,871	2,341	26%
平成17年	8,317	2,585	31%
平成22年	7,863	2,604	33%

※平成22年は、住民基本台帳の数値を利用

高齢者人口の推移



そして、現在では前期高齢者の3・6%、後期高齢者の30・5%の方が介護保険の認定を受けており、要介護認定者数の約90%を後期高齢者の方々が占める状況となっています。

介護保険認定の状況

	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
認定者	15人	40人	441人	496人
認定の割合	3.0%	8.1%	88.9%	100.0%
各年齢の人口	2,663人	1,120人	1,444人	5,227人
人口に対する認定者の割合	0.6%	3.6%	30.5%	—

平成23年5月調べ

どのようなサービスや仕組みがあっても自分自身がそのものを利用したいと思うものでなければ、多くの町民の理解を得ることはできません。

高齢化に伴う医療と介護、保健、福祉に関する「漠然とした不安」が多くの人々の中に芽生え、また高齢化に伴う問題を抱える人々が増えてきているのが現状です。

介護施設の現状

現在、本町の特別養護老人ホームには約100人の入所希望町民がいます。その多くの方々は他町の特別養護老人ホームや老人保健施設に入所していたり病院に入院中の方で退院できる状況になっても入所先が無いために入院を続けていたりする方もいます。また、自宅で療養しつつ入所を待っている方もいます。同ホームに入所を希望される方々の介護の範囲は、歩行や入浴、着替えや食事、排せつなどの動作上のことから、対人関係、状況把握などの認知に関する事、鼻や胃にチューブを入れて直接栄養補給する経鼻栄養や胃ろうといった医療ケアを必要とすることなど多岐にわたります。

老健」が必要となります。一方、本来自立している方々が対象であるケアハウスや認知症の方々が生活する地域密着型グループホームにも特別養護老人ホームへの入所対象となるような介護を必要とする方がいます。施設本来の対象者以外の方が多くなることで、その施設本来の強みを生かしたサービスを提供することができなくなることも考えられます。

介護保険料基準額比較表 単位：円

順	市町村名	金額	順	市町村名	金額
1	更別村	4,300	11	幕別町	3,850
2	浦幌町	4,242	12	足寄町	3,700
3	大樹町	4,200	13	豊頃町	3,592
4	広尾町	4,200	14	新得町	3,550
5	帯広市	4,190	15	本別町	3,540
6	鹿追町	4,000	16	上士幌町	3,417
7	士幌町	4,000	17	池田町	3,284
8	音更町	3,900	18	陸別町	3,253
9	芽室町	3,900	19	中札内村	2,900
10	清水町	3,850			

平成23年度調べ

連携に向けた取り組み

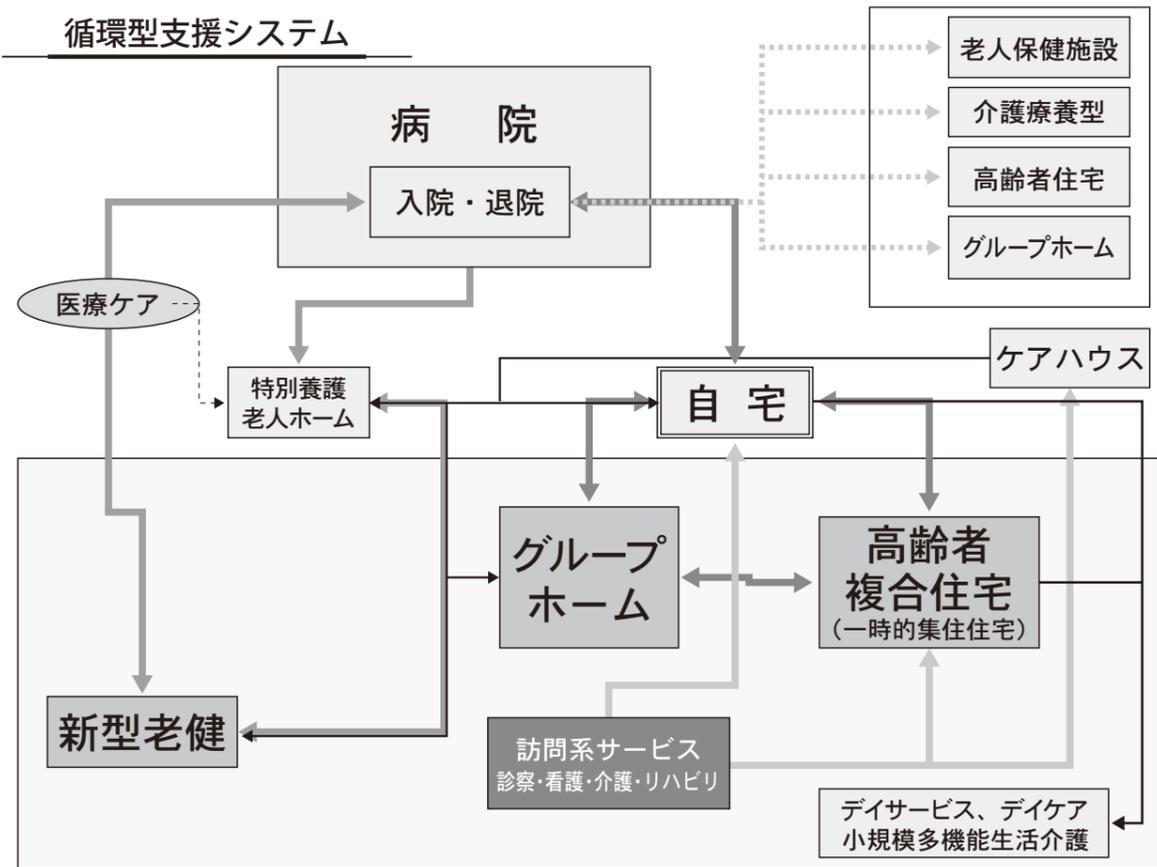
これらのさまざまな課題解決に向け、町民にとつてもっとも安心できる医療と介護等の社会環境を整備していくことが求められますが、相反して「医療費や介護サービス利用料、保険料の負担」とのバランスも求められています。

このような背景から「いつまでも安心して暮らせる町づくり」を目指し「在宅介護を中心とした家族や地域が共に安心して暮らせる社会」を骨格に、昨年度から本町の重点施策「医療と介護・保健・福祉の連携システムの構築」に向けた取り組みを開始しています。第1段階の取り組みとして昨年度は、

町民の健康・安心の基盤となる町内医療機関における「医療と介護の役割分担」に向け、町を中心に医療病床を持つ我妻病院と国民健康保険病院との三者で相当数の協議を重ね、平成24年4月以降の体制について決定しました。我妻病院は入院病床を「新型老健」に転換した上で入院病床を持たない診療所としての外来診療を分担すること、国民健康保険病院は町内医療機関と連携し、急性期等の入院病床機能等を強化して分担することになり、今後の町民の安心確保に向けて大きな期待を寄せています。

第2段階の取り組みとして、本年度は「個々の心身状態にふさわしいサービスが切れ目なく提供できる体制づくり」を目指した、地域包括ケアシステムの再構築を進め、また、医療や施設入所、介護サービスが必要となった利用者の総合窓口（一括代表としての申請受け付け）の創設や専門スタッフが本人・家族の相談を受け、悩みなどを解消につなげていく態勢をつくっていきます。

次年度以降の第3段階の取り組みとして、在宅療養に基本を置いた「循環型支援システム」の構築を図っていきます。



足寄町の医療における 国民健康保険病院の役割

町国民健康保険病院院長 村上英之

北海道の医療は、地方での医師・看護師不足、少子高齢化社会、地域の過疎化などの影響から、地域医療崩壊という言葉が話題になるほど大変厳しい状況にあります。

本町においても、医師不足の問題、診療報酬改定に伴う病院経営の問題、また高齢化による介護・福祉体制の不備など多くの課題が山積する状況です。

しかしながら、地域から病院が無くなるということがあってよいのでしょうか？仕事だけがをした、突然の脳卒中で倒れた、子どもが急に具合悪くなった、一緒に住むお年寄りが動けなくなったなど、このような状況に対して病院が無かったら町はどうなってしまうのでしょうか。

町国民健康保険病院は、平成24年4月から地域における唯一の入院施設を有する病院となります。そこで、地域医療を担っていく上で必要と考えられる3つのことに関しての取り組みを進めていくことを決定しました。



①救急医療体制の充実

帯広市から60km以上離れているこの地では、救急の初期対応が大切になります。外科、内科に関わらず、救急患者がなるべく町内での医療を完結できる体制を整えていくこと、また、当院で対応することが困難な患者さんの場合でも帯広圏の高次医療病院との連携を整えていくことを進めていく方針です。当院では町の救急隊とも連携を取り合い、迅速かつ、安全に救急対応できる体制を構築するべく、話し合いを進めております。

②慢性期医療の取り組み強化

町の高齢化率が33%となった状況で

訪問系サービスの充実
在宅療養を進める上で大きな課題は家族の介護負担です。その負担を軽減するためには居宅系サービスの充実が重要で、大きく4つの訪問系サービスを計画しています。

①訪問介護サービスにおいて、厚生労働省が推進している24時間巡回型訪問介護サービスを基本に、例えば、1日1回2時間の介護サービスを集めて提供するのはなく、食事や排せつ、入浴など、1日に何度も短時間で訪問して介護サービスを提供する仕組みづくりを進めていきます。

②訪問看護サービスの拡大を行い、夜中でも日曜日でも看護師に心配ごとや不安ごとなどを相談できるサービス体制づくりを進め、利用者の安心感を確保していきます。

③訪問リハビリを開始し、脳梗塞や脳出血などの後遺症で歩きにくくなったり、日常生活動作がスムーズにできなかつたりした場合、リハビリの専門家（理学療法士など）が自宅に outgoing 訓練を行うサービスを新設し、在宅生活を続ける上でのあらゆる質を上げることにつなげていきます。

④医師が皆さんの自宅に出掛け、診療する訪問診療の仕組みをつくり、さは、一人の患者さんが複数の疾患を持つことは珍しいことではなくなりまして。しかしながら、医療はより高度に、そしてより専門性が高くなり、一人の患者さんが複数の病院を掛け持ちしている状況が多く見られます。そのため、お年寄りの方で服用する薬が多くなり、情報が行き届かないことから薬の副作用に気付かず処方されている患者さんも診る機会があります。当院では、専門性にこだわることなく、高血圧や糖尿病、さらに消化器疾患やがん治療、骨粗しょう症などについて、常勤する医師間での連携を取りながら、地元での通院が可能となるべく対応していきたいと考えています。もちろん、当院でできる専門外来もこれまで以上に積極的な取り組みを行っていく方針です。

特に、高血圧、糖尿病といわれる生活習慣病は、自覚症状なく進行し、ある日突然心筋梗塞や脳卒中といわれる命の危険に関わる疾病を発症するに至ります。また、がんについても早期発見によって侵襲の少ない治療で根治できる時代になってきました。ただ薬を服用するのみではなく、定期的な検査を受けることで、病気の早期発見に努め、町民が元気で長生きできる社会に貢献する必要がありますと考えています。

らなる安心につなげていきます。しかし、居住地域が遠隔で点在していると医師や看護師の訪問や介護ヘルパーが日に何度も巡回するには非効率なことが多いなど、これらのサービスを効果的に展開するためには高齢者向け複合住宅（一時的集合住宅）との組み合わせが必要と考えています。サービス利用者が在宅療養を選ぶ場合、自宅のみではなく、この複合住宅を一つの必要な場合には在宅サービスを利用できるシステムをつくっていく計画内容としています。

医療と介護・保健・福祉の連携システムの実現に向け、町内に居住する専門的知識を持つ方や有識者の方等の意見を伺いながら具体的な検討を進め、取り組んでいきます。

今後、この分野を分かりやすく説明する情報誌とホームページを作成し、より細やかな情報をお伝えする予定です。町民や他町に住まれる親族の皆さんが安心できる連携システムを構築していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

詳細 役場福祉課地域包括支援センター
☎2519200

③予防医学と保健活動の発展

医療の基本はコミュニケーションが大切です。病気に対する正しい知識を持ち、生活習慣の是正や薬の正しい服用に心掛けることで、疾病の重症化を防ぐことができます。このような知識を得るには、医療側と患者さん側との正確な情報を共有できる機会を設ける必要があります。このような関わり合いが持てる機会を病院側から積極的に取り組んでいきたいと考えています。

町の施策が一つのチームに

本町の医療全体を見据えたとき、町内の医療機関とも連携を取り、お互いに協力しながら町の医療レベルを上げていく努力が必要と感じています。当院では医療連携室を介してさまざまな患者さんのご相談にも対応していく方針です。町国民健康保険病院としての役割を果たすべく、町内以外でも帯広市や北見市などの高次医療機関からの転院の受け入れ、リハビリテーション環境の充実、訪問診療、ケースカンファレンスなどの活動を町の医療機関、介護施設、さらに町福祉課とも連携を取りながら、町の施設が一つのチームとなって取り組む形を作り上げたいと考えています。

足寄ふるさと盆踊り 西国花火大会



第32回足寄ふるさと盆踊り・西国花火大会
（実行委員会主催）が、8月15日町民セン
ター駐車場と利別川河川敷で行われ、町内
外から約10,000人が訪れ、過ぎゆく
夏のひとときを楽しみました。



オープニングでは、町のマスコットキャラクター「アユミちゃん」の着ぐるみが登場すると、客席から大きな拍手が起りました。
続いて行われた、ピエロのぐつちぎによる大道芸や歌真磨によるものまねショーのほか、恒例のもちまきなども行われ、多くの人が訪れ楽しんでいました。
また、町地域子ども会育成連絡協議会（富士田和夫会長）による子ども縁日や卓球連盟による卓球体験コーナーも開催され、多くの子どもたちで賑わいました。
小雨の降る中行われた足寄ふるさと盆踊りは、みんなで楽しむ足寄音頭・子ども盆踊りで始まり、浴衣や甚平姿の子どもたちが楽しそうに踊りました。
衣装盆踊りには、個人の部に22組、団体の部に6組が出場し、趣向を凝らした衣装で、観客の目を楽しませていました。
西国花火大会は、「オープニングファンタジー」「花火ワンダーランド」「グランドファイナル」の3部構成で行われ、ナイアガラの滝やスターマイン、中国花火が足寄の夜空をカラフルに彩り、詰めかけた観客からは歓声と大きな拍手が沸き起こりました。



衣装 団体の部
優勝「踊って遊いで」



衣装 個人の部
優勝「花さかじい」



■級別職員数（一般行政職）

（平成22年4月1日現在）

区分	標準的な職務	職員数
6級	課長 参事	13人
5級	室長 主幹	28人
4級	主査	28人
3級	主任	27人
2級	主事 技師	13人
1級	主事 主事補 技師補	8人
計		117人

- ・区分は足寄町給与条例によります。
- ・標準的な職務内容とは、それぞれの級の代表的な職務です。

■期末・勤勉手当支給率

（平成22年4月1日現在）

区分	期末手当	勤勉手当	加算措置
足寄町	6月 1.25月分	0.70月分	有 役職による加算
	12月 1.5月分	0.70月分	
	計 2.75月分	1.40月分	
国	6月 1.25月分	0.70月分	有 役職による加算
	12月 1.5月分	0.70月分	
	計 2.75月分	1.40月分	

■職員の主な手当の状況

（平成22年4月1日現在）

手当の名称	内容および支給（額）単価
扶養手当	配偶者 13,000円
	扶養親族1人につき 6,500円
	配偶者のいない扶養親族1人目 11,000円
	満16歳の年度始めから満22歳の年度末まで の子1人につき 5,000円加算
住居手当	家賃の額に応じ25,500円を限度に支給 持家の場合 新築から5年 18,500円 6年以降 16,000円
	交通機関利用者 運賃の額55,000円を限度に支給 自動車等利用者 片道2km以上 距離に応じ2,000～24,500円支給
管理職手当	課長等の職 給料月額×10% 室長等の職 給料月額×8%
	寒冷地手当 基準日に在職する職員に支給 世帯主 扶養親族あり 131,900円 扶養親族なし 72,900円 その他の職員 51,700円

用語解説

給与＝勤務の対価として職員に支払われる、給料、手当など
 給料＝給与から手当を除いたもの
 普通会計＝収益事業・公営企業を除いた特別会計と一般会計の合計
 類似団体＝人口および第2次・第3次産業人口比率の類似している団体
 一般行政職＝税務職、福祉職、医療職、看護保健職、企業職、技能労務職以外の職種

■年齢別職員構成の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	職員数	区分	職員数	区分	職員数
20歳未満	1人	32～35歳	32人	48～51歳	23人
20～23歳	3人	36～39歳	23人	52～55歳	23人
24～27歳	14人	40～43歳	21人	56～59歳	24人
28～31歳	19人	44～47歳	32人	60歳以上	3人
合計					218人

職員の給与に関してご不明な点は、総務課総務室職員担当までお問い合わせください。
 ☎25-2141（内線323）

■人件費の状況（普通会計）

年 度	平成21年度
歳出総額	9,762,760千円
人件費	1,309,359千円
人件費率	13.4%
人件費のうち職員給与	935,110千円
職員給与比率	9.6%

人件費には、議会議員や非常勤特別職の報酬、町長など特別職の給与、職員の給与、退職手当組合負担金などが含まれています。

■職員の初任給の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	給料額
一般行政職	大学卒 足寄町 172,200円
	大学卒 国 172,200円
	高校卒 足寄町 140,100円
	高校卒 国 140,100円

■特別職等の報酬等の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	給料	期末手当
町長	740,000円	6月期 給料月額×1.9月分
副町長	610,000円	12月期 給料月額×2.1月分
教育長	560,000円	計 4.0月分

■議会議員の報酬等の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	報酬	期末手当
議長	250,000円	6月期 報酬月額×0.6月分
副議長	210,000円	12月期 報酬月額×0.6月分
議員	190,000円	計 1.2月分

■退職手当の支給率

（平成22年4月1日現在）

区分	勤続年数	自己都合	勤奨・定年	その他の加算
足寄町	勤続20年	23.50月分	30.55月分	・定年前早期退職特例措置 2～20%加算 ・勤奨による退職時特別昇給 8～12号給
	勤続25年	33.50月分	41.34月分	
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	
	最高限度	59.28月分	59.28月分	
国	勤続20年	23.50月分	30.55月分	・定年前早期退職特例措置 2～20%加算
	勤続25年	33.50月分	41.34月分	
	勤続35年	47.50月分	59.28月分	
	最高限度	59.28月分	59.28月分	

足寄町職員の給与と職員数

町民の皆さんに町職員の給与などについて、その内容をご理解いただくために、あらましをお知らせします。

平成17年度から公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に、給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが義務付けられています。

足寄町のホームページ（<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>）でも公表していますのでご覧ください。

■職員の平均年齢・平均給料月額・平均給与月額の状況

（平成22年4月1日現在）

区分	一般行政職		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
足寄町	42.8歳	338,200円	385,226円
類似団体	43.6歳	324,568円	355,334円
国	41.9歳	325,579円	395,666円

平均給与月額には時間外勤務手当と特殊勤務手当を含んでいません。これは、国家公務員の公表数値にこれら手当が含まれていないため、同じ算出方法で比較するために除いているものです。

素敵な高校生活は

足寄高校で

豊かな高校生活を送るには、魅力ある高校を選択することから始まります。イメージだけではなく、自分の目や耳で見聞きたり、先輩の話を聞いたりするのも一つの方法です。

また、高校が行う学校説明会は、実際に高校生活の一端を経験することができ、自分自身で学校を知るまたとないチャンスです。

足寄高校では、毎年9月に学校説明会を開催し、特色と魅力ある取り組みをまとめた学校生活を映像で紹介し、また体験授業、校舎見学、部活動見学を行っています。

中学生の皆さんはもちろん、中学校



の先生方、保護者の皆さんにも、足寄高校の雰囲気を感じとってもらえる内容となっています。

足寄高校では、確かな学力向上の取り組みとして基礎・基本の徹底や教育課程の工夫・改善を行い「わかる授業」を目標に日々研究をしています。

進路希望の実現に向けては、2年生の冬に行われる進学合宿や各種講習会（夏期・冬期・放課後）、資格取得検定（漢字・数学・英語・ワープロ・情報処理・簿記・電卓など）、模擬試験、進路ガイダンス、就業体験（インターシップ）等のキャリア教育に取り組み、国公立大学や看護学校などに多くの合格者を、また、就職希望者は厳しい求人状況にもかかわらず、卒業前に全員の内定を得るなど、高い実績を上げています。

部活動も少人数ながら大会での好成績を目指して日々練習に励んでいます。特に、陸上部は今年も全国大会出場を果たしました。伝統ある弓道部も全道大会に出場しています。その他、野球部、バスケットボール部、バドミン

国民健康保険病院に医師着任



柴崎 嘉 医師長

柴崎嘉医師（42歳）が、8月1日に町国民健康保険病院に着任されました。

柴崎医師は、香川県の出身で、自治医科大学を卒業後、香川県立中央病院等での勤務の後、同県綾川町国民健康保険陶病院から赴任されました。専門は内科（消化器内科）です。出生地が北見市で、以前から北海道での生活に興味があったといい、小豆島の診療所や病院など、へき地医療に多く携わり、地域医療の病院勤務を望まれ、縁あって赴任を決意されました。

柴崎医師は「香川県と匹敵する広さの町で、気候も生活様式も違い、地域に求められている医療にも違いがあると思います。これまでの経験を生かして取り組みたい。地域の方から信頼や安心をいただける病院づくりに内科の面から役立てられれば」と力強く話されました。

趣味はスポーツ観戦で、テニスやゴルフを嗜み、木工制作にも取り組みたいと話されました。

トン部、バレエ部、演劇部、茶道部、吹奏楽局、放送局、新聞局、ボランティア部、自然科学研究会が精力的に活動をしています。そして、今年新たに卓球同好会、サッカー同好会が設立され、秋の大会出場を目指しています。学校行事も、53回を誇る「観岳祭」、47回を迎える「強歩大会」など、町民の多くの皆さんからの声援をいただいで毎年行われています。今年は、国道沿いで交通安全運動と引き続き行われる清掃活動を各学年で実施しています。5月には3年生が、6月には2年生が行い、9月には1年生の実施を予定しています。

演劇部・吹奏楽局
合同公演のお知らせ
とき 9月24日(土)午後6時〜
ところ 足寄町民センター
公演内容
演劇部：9月30日開催の高文連地区大会、参加演目を公演
吹奏楽局：コンサート（合同公演特別版）
入場料 無料
問い合わせ先
足寄高等学校 ☎25-22269
演劇部顧問・吹奏楽局顧問
※学校の様子は、足寄高校ホームページ（<http://www.ashoro.hokkaido-c.ed.jp>）からもご覧いただけます。

足寄高校の歴史
足寄高校の前身は、昭和28年に定時制高校として誕生。昭和33年4月1日、町立から道立に運営が移管され、現在の北海道足寄高等学校がスタートしました。
昭和41年には、学科転換などがあつたものの最大5学級まで学級数が増加しました。
平成に入り一転して、生徒数の減少により家政科の募集停止や普通科の間口減が続く時代となつてしまいました。
開校64年の足寄高校の歴史は、8,444人の卒業生から、次代を担う後輩達に脈々と引き継がれ、足寄町の礎になっています。

町のマスコットキャラクター「アユミちゃん」を紹介します

平成元年、応募総数350点の中から誕生し、町のマスコットキャラクターとして活躍してきた「アユミちゃん」がこのたび、着ぐるみになって登場。これから、町内外を問わず、イベントに参加して、町の観光や特産品等をアピールしていきます。
皆さんにお会いできることを楽しみにしています。みんなのお友だち「アユミちゃん」を今後ともよろしくお願ひします。



アユミちゃんの紹介
生年月日 明治41年4月1日（足寄町開町の日）
性別・血液型 不詳
性格・特徴 寂しがり屋で人懐っこい性格です。人の和を大切にし、いつも周りに人がいます。地道な努力家で、ゆっくり一步一步成長していくタイプです。慎重に一步一步踏みしめて歩くため、早くは走れません。はやりものが大好きで、人の集まる場所によく出没します。まだまだ秘密いっぱいのおミステリアスなアユミちゃんです。皆さんよろしく！
詳細 役場総務課企画財政室
☎25-2141 内線319



8.6 交通安全啓蒙運動

足寄ライオンズクラブ（後藤昇会長）が足寄交番前で交通安全啓蒙運動を行いました。

会員らは「シートベルト着用」「スピードダウン」と書かれたたすきを掛け、ドライバーにあめやパンフレットを手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。



8.7 クリーン阿寒

全国一斉自然公園清掃活動の日に併せ、クリーン阿寒（環境省阿寒エコミュージアムセンター運営協議会主催）がオンネトー周辺で行われました。参加者約40人がゴミ袋を手にアカエゾマツ純林コースや湯の滝遊歩道コースなど3コースに分かれ、自然観察や森林浴を楽しみながら清掃活動に汗を流しました。



8.8 三井浩二野球教室

町出身で元プロ野球選手の三井浩二氏による野球教室（町教育委員会主催）が足寄中学校野球部員を対象に里見が丘野球場で行われました。三井氏は、選手に正しいボールの握り方や投球フォーム、打撃などを指導。「最後まで夢を持って頑張ってもらいたい」と後輩たちにエールを送りました。



8.19 戦没者追悼式

町戦没者追悼式が町民センターで行われ、遺族や来賓など約90人が参列しました。追悼のことばでは足寄中学校生徒会長の山崎真穂氏（3年生）が「戦争の事実を後世まで語り継ぎ、世界平和を唱え平和が絶えないよう誓います」と述べた後、参列者全員で祭壇に献花を行い、戦争で犠牲になった本町関係者121柱の冥福を祈りました。

写真をご希望の方は広報広聴担当まで



7.23 夏祭り

町特別養護老人ホームあゆみの園（沼田聡施設長）が施設利用者と家族などを対象に夏祭りを開きました。会場では同施設職員やボランティアが焼き鳥やフランクフルト、スイカなどたくさんの料理を振る舞いました。ステージでは町カラオケ同好会会員の歌が披露され、参加者は夏のひとときを楽しみました。



7.24 練習の成果を披露

第17回町文化協会芸能発表会が町民センターで開かれ、同協会に加盟する団体から延べ106人が出演しました。佐々木孝流三絃会の三味線で開幕。民謡やカラオケ、舞踊など23演目で日ごろの練習の成果が披露され、会場に詰め掛けた約200人の観客から大きな拍手や歓声が上がっていました。



7.30 安心なまちづくりを訴える

社会を明るくする運動街頭キャンペーン（町防犯協会主催、五十嵐健二会長）があしよろ銀河ホール21前で行われました。同会会員や本別地区保護司会足寄町分会の会員などが参加しました。参加者は町民や観光客にメモ帳やボールペンなどの啓発グッズを手渡し、安全で安心なまちづくりを訴えました。



8.4 七夕まつり

足寄保育園どんぐり（寺田幸子園長）が七夕まつりを開き、同園に通う子どもたちが色とりどりの浴衣や甚平姿で参加しました。子どもたちは、お面や水ピストルくじなどの縁日コーナーを楽しみ、その後、願い事が飾られた柳の木を囲んで盆踊りが披露されました。最後に、保護者の会による大型花火が打ち上げられ、大きな歓声を上げていました。

生涯学習情報コーナー

智 究 人

いつでも、どこでも、だれでも、なにからでも、

通算 第85号



苦手箇所の克服に重点を置きました

生涯 夏休みチャレンジクラブ 学習

教育委員会と町生涯学習研究所生涯学習部では、夏休みの児童の居場所づくりを目的とした「夏休みチャレンジクラブ」を町民センターで開催しました。

この事業は、夏休みの長期休業中、共働きなどで保護者が日中、自宅にいない児童の居場所づくりのために実施しており今年で3年目です。

7月25日から8月16日までの期間中（土・日除く）町民センターの体育文化団体連絡室を自主学習や自由研究ができる場として開放しました。

また同期間、学習支援の一環とした



ペピーキッズで楽しく英語を学びました

「チャレンジさんすうクラブ」（全7回）と、国際理解を深めるための「子ども英語クラブ・ペピーキッズ」（各クラス全3回）を実施しました。

「さんすうクラブ」は、算数や計算の苦手な児童たちの学習支援を中心として、町生涯学習推進アドバイザーを講師に、参加者を低・中・高学年に分けて、算数を楽しく学びました。

また「ペピーキッズ」では、国際交流員のエバン・ブレイズを講師に、英語を使ったゲームなどを通し国際理解を深めました。



生涯 英会話クラブ 学習

教育委員会では、国際交流員のエバン・ブレイズを講師とした、大人のための初級英会話クラブを開催し、町民13人が参加しました。

成人向けの英会話教室を開催したのは6年ぶりです。簡単な自己紹介や旅行の際に役立つ英会話などを学んだり、実際に町内の飲食店に行き英語で注文したりする体験もしました。

参加者は、エバンとの交流を楽しみながら、使える英会話を学びとても満足そうでした。

今後もニーズに応じた英会話教室等を開催していく予定です。

生涯 原稿募集 学習

町文化協会（大須賀白会長）では、平成24年3月発行予定の機関誌「噴煙」第34号の原稿を募集しています。

募集作品

創作・戯曲	30枚以内
評論・回想	20枚以内
随筆・随想・記録文など	7枚以内
詩	50行以内
短歌・俳句・川柳	5首・5句
写真	4枚以内

※用紙は、B4版噴煙専用原稿用紙を使用（25字×23行・縦書き）

応募資格

- ①町内に在住の方
- ②町文化協会加盟団体会員およびゆかりのある人

締切日 11月末日

その他注意事項等

- ①種目ごとに一人1遍とする
- ②原稿の末尾に住所・氏名を記入すること。ペンネームも可能
- ③原稿の採否は編集委員会で行う
- ④応募原稿は返却しません

詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188

生涯 生涯学習フェスティバル

第18回足寄町生涯学習フェスティバルを開催します。誰でも気軽に参加できますのでぜひご参加ください。

主催 足寄町

足寄町生涯学習推進本部

期 間 10月1日(土)～11月30日(水)

会 場 町民センターほか

町内の生涯学習関連施設

内 容 町民芸術祭、足寄町文化祭、町民マラソン大会・ウォーキング、女性のつどいほか生涯学習に関すること全般

詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188



生涯 第50回足寄町文化祭 学習

生涯学習フェスティバル協賛事業の「第50回足寄町文化祭」では、町民の皆さんからの出展作品を募集します。町民センター全館を展示会場として、書道や絵画、各種創作作品など、さまざまな分野の作品が毎年出展され、文化祭に花を添えています。

日ごろ、創作活動を行っているサークルから個人の出展まで、活動の発表の場として皆さんの作品をお待ちしています。

展示期間 10月20日(木)～11月3日(木)

展示会場 町民センター

募集作品 書道、絵画、陶芸作品、生け花、創作人形、その他創作作品全般

出展数 一人3点まで

搬入 10月18日(火)・19日(水) 午前9時～午後8時

搬出 11月4日(金) 午前9時～午後8時

申込先・詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188

生涯 女性のつどい

女性のつどい実行委員会（上野悦子実行委員長）主催による第32回足寄町女性のつどい（町生涯学習フェスティバル協賛事業）を、今年も次の日程で開催します。多数の町民の皆さんのご来場をお待ちしています。

日 時 11月27日(日) 午前10時～午後3時15分

会 場 町民センター多目的ホール

内 容 基調講演、実技指導、赤字バザール、特産品販売等

講 師 宮本 隆治 氏
(フリーアナウンサー)

その他 詳細が決まりましたら自治会回覧等にてお知らせします。

詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188



生涯 「噴煙」原稿募集 学習

町文化協会（大須賀白会長）では、平成24年3月発行予定の機関誌「噴煙」第34号の原稿を募集しています。

募集作品

創作・戯曲	30枚以内
評論・回想	20枚以内
随筆・随想・記録文など	7枚以内
詩	50行以内
短歌・俳句・川柳	5首・5句
写真	4枚以内

※用紙は、B4版噴煙専用原稿用紙を使用（25字×23行・縦書き）

応募資格

- ①町内に在住の方
- ②町文化協会加盟団体会員およびゆかりのある人

締切日 11月末日

その他注意事項等

- ①種目ごとに一人1遍とする
- ②原稿の末尾に住所・氏名を記入すること。ペンネームも可能
- ③原稿の採否は編集委員会で行う
- ④応募原稿は返却しません

詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188

博物館情報 フォストリーへGO

入館者25万人突破

動物化石博物館は、開館以来の入館者数が、8月16日で25万人に到達し、節目の来館者となった帯広市在住の門間勇弥君（小学5年生）とご家族に記念品が贈られました。

門間君は、3度目の来館で、新規の来館者の他に、リピーターが増えているのが最近の特徴です。今後も化石体験の充実などに努め、多くの皆さんにご来場いただける施設運営に努めていきます。



詳細 博物館 ☎25-9100

総合体育館情報 イチオシ!

着衣泳水泳教室開催

10月31日(月)、温水プールにおいて「着衣泳水泳教室」を開催します。近年、水辺での事故が多発していることなどから、水難事故を防止するための対処法等を学びます。町民どなたでも参加できますのでご参加ください。

日時 10月31日(月) 午後6時30分～
場所 温水プール
対象 小学生から一般町民
詳細 総合体育館 ☎25-3191
※定期点検のため11月は休館し、12月1日から通常開館します。



図書室ほっと情報

より探しやすい

図書室を臨時休館し、書架等の整理をしました。図書室で所蔵している全ての本の背表紙には、管理されている棚番号を付け、これまでよりも探しやすい、借りやすくなりました。特に、子ども図書室の本棚は、あひるやいぬ、うさぎなどの絵で区分けしました。図書室では今後も、多くの皆さんに利用いただける施設づくりに努めます。

詳細 図書室(町民センター内) ☎25-3188



新刊案内

- 一般書
 - アキバの帝王 新堂 冬樹
 - 虚言少年 京極 夏彦
 - マザーズ 金原ひとみ
 - やなりいなり 畠中 恵
 - 黄泉から来た女 内田 康夫
 - クラブティオ 真山 仁
 - 財務省の階段 幸田 真音
 - 鍵のかかった部屋 貴志 祐介
 - 逸見小学校 庄野 潤三
 - アトピーっ子も安心の毎日ごはん 渡辺 雅美
- 児童書
 - 8月6日のこと 中川ひろたか
 - おばけのチヨウちゃん 長野ヒデ子
 - ひとりぼっちのガブ きむらゆういち
 - 遠く不思議な夏 斉藤 洋
 - シンデレラ 安野 光雅
 - やまんばあかちゃん 富安 陽子
 - おうさまジャックとドラゴン おうさま
 - わたしのにわ ビーター・ベントリー
 - きみたちにおくるうた ケビン・ヘンクス
 - へんの手紙ー ーむすめたち バラク・オバマ

社会教育事業のお知らせ

9月から12月までの主な事業予定

読み聞かせ

●ブレイメンのお話講座

開催日 9月17日(土) 10月15日(土)
11月19日(土) 12月17日(土)

時間 午後1時～2時
場所 町民センター子ども図書室
対象 幼児～小学校中学年
詳細 教育委員会生涯学習室

●絵本の会「はらっば」

開催日 9月24日(土) 11月26日(土)
12月24日(土)

時間 午前10時30分～11時
場所 町民センター2階ロビー
対象 幼児～小学校低学年
詳細 絵本の会「はらっば」事務局 ☎25-4974

●「おはなしたんぼ」

開催日 10月11日(火) 11月8日(火)
12月13日(火)

時間 午前11時～11時30分
場所 町民センター子ども図書室
対象 乳幼児～幼児
詳細 「おはなしたんぼ」事務局 ☎25-7487

子育て・家庭教育

●子育て支援・学習と交流の会「すくすく」

開催日 9月15日(木) 10月13日(木)
11月10日(木) 12月15日(木)

時間 午前10時10分～11時50分
場所 町民センター
その他 事前申し込みが必要です。
※託児所もあります

●子育て支援「リサイクルの日」

開催日 9月27日(火) 10月25日(火)
11月29日(火) 12月20日(火)

時間 午前10時～11時30分
場所 町民センター第1・2会議室
詳細 教育委員会生涯学習室

●ブックスタート事業

開催日 10月27日(木)

時間 午前10時～正午
場所 町民センター多目的ホール
対象 乳児健診該当者
※乳児健診時に読み聞かせをしブックスタートパックを配布する事業です
詳細 教育委員会生涯学習室

生涯学習事業

●町民センターロビー展

10月3日(月)～11日(火)
防火週間入選作品展
10月6日(木)～17日(月)
足寄中学校学校祭展

10月20日(木)～11月3日(木)
足寄町文化祭作品展
11月8日(火)～11月19日(土)
西村秀雄展

11月22日(火)～12月5日(月)
小中学校作品展
※出展希望者も随時受け付けています
詳細 教育委員会生涯学習室

●ローコンサート



開催日 10月16日(日)
時間 開場 午後2時30分
開演 午後3時

場所 町民センター多目的ホール
出演 森本アリ(音楽家)
ゲームボーイや掃除機等、楽器でないものを楽器として使用する音楽会です。

入場料 無料

●第32回町民マラソン大会兼第17回町民ウォーキング

開催日 10月10日(月・祝日)

場所 陸上競技場ほか
対象 町民(幼児から一般)
参加料 無料
詳細 総合体育館

●元気アップ健康教室①

開催日 10月4日(火)・11日(火)・18日(火)
25日(火)

時間 午前10時～11時30分
11日のみ午後1時～午後2時30分
場所 総合体育館

内容 スローステップ運動
対象 60歳以上の町民
詳細 総合体育館

●元気アップ健康教室②

開催日 11月10日(木)・17日(木)・24日(木)

時間 午後6時～7時15分
場所 総合体育館
内容 パワーエクササイズ
対象 18歳以上の男性
詳細 総合体育館
お問い合わせ・連絡先
生涯学習室 ☎25-3188
総合体育館 ☎25-3191

国際交流員

エバン・ブーイさんが帰国



町国際交流員のエバン・ブーイさんが1年間の任期を終え、8月30日にカナダへ帰国しました。

エバンさんは、リア・パーズの後任として姉妹都市カナダ・アルバータ州ウエタスキウイン市友好協会の推薦を受け、平成22年9月に第9代目の国際交流員として来町しました。

エバンさんは、教育委員会生涯学習室に勤務し、町内小・中学校における英語指導や保育園などでの英語活動を行ったほか、町のイベントにも数多く参加し、多くの町民の方々と交流を深めました。

また、プライベートでは、弓道や和太鼓を習うなど、日本文化を吸収しようとする積極的な活動していたのが印象的です。日本食も大好きで、特にお寿司がお気に入りでした。帰国にあたり、エバンさんからのメッセージをご紹介します。

メッセージ

大学を卒業後、初就職を日本でするなど一度も考えたことがありませんでした。しかし、常日ごろから世界中を旅し、色々な文化を経験したいと思っていたので、国際交流員に選ばれたという話をいただき、行かずにはいられませんでした。一生に一度のチャンスをおいただき大喜びしました。

私は足寄での生活をとても満喫しました。今ではここが自分の故郷ではないかと勘違いしてしまうほどです。この素晴らしい『日本』という国で暮らすことができ、とても幸せに思います。町民の皆さんは非常に温かく歓迎してくれて、親切で気さくな方ばかりでした。言葉の壁はありましたが、皆さんは私に分かるように簡単な日本語に言い換えてくれました。皆さんのお心遣いに感謝しています。

1年間の滞在中、色々なことに挑戦

することができました。私にとって素晴らしい先生である五十嵐定美先生の指導の下で、毎週弓道の練習をしました。また、雌阿寒太鼓保存会の一員として、太鼓の練習もしました。先生である石井政昭さんも素晴らしい方でした。さらに、足寄高校ではバスケットボール部のコーチとして指導させていただきました。この経験では自分の持っている知識を熱心な生徒に教えられる素晴らしい機会になりました。私自身も社会人チームに所属し、いいチームメイトにも恵まれました。

足寄の子どもたちに英語を教えるのはとても楽しかったです。特に、いつも元気いっぱい足寄保育園でぐんぐんに行くのを毎週楽しみにしていました。とてもかわいい子どもたちばかりでした。全員が私のレッスンを楽しんでくれていたら嬉しいなと思います。彼らの笑顔と授業の終わりのハイタッチができなくなると思うと、とても寂しいです。足寄で出会った皆さんに会えなくなるのは、本当に残念です。感謝してもきれませんが、私を受け入れて下さった足寄の皆さんにお礼申し上げます。そして、お元気で！

エバン・ブーイ



町民防災講座

第44回 冒険王で防災キャンプを開催しました！

「すすめ！あしよろ☆冒險王・防災キャンプ」(町教育委員会主催)がネイバルあしよろで行われ、小学生27人が参加しました。

初日は、足寄消防署で止血法を学んだほか、防火衣の試着、消防車の試乗をしました。

2日目は、廣井榮喜さん(道地域防災マスター)から非常用備品の使用方法について説明を受けました(写真①)。その後、町日本赤十字奉仕団(森博子委員長)に協力いただき、非常用炊飯袋を使ったご飯と豚汁の炊き出し訓練を体験しました(写真②)。

午後からは、北海道教育大学釧路校境智洋准教授を講師に招き、火山噴火の模擬実験を行い、楽しみながら火山の仕組みを学びました。

防災教育は、平時にできる重要な防災対策の一つであり、今回、同奉仕団から全面的な協力を受け、有意義な防災講座となりました。



「自然の見方・考え方を学ぶ」

北海道教育大学釧路校准教授 境智洋 先生が住んでいる場所を知ることが、防災意識を高めることにつながります。今回は、子どもたちに『身近な山がどのようにしてできたのかを調べる方法』について伝えました。

土地が盛り上がった山

まず、土地に見立てた発泡スチロール板の両端を持ちます。両端からゆっくりに押ししていくと板が曲がり(写真③)、ついには、途中で裂けて段違いになることもあります。これが『土地が盛り上がった山』です。このモデルのように、多くの山は土地の変化によってできています。

火山活動によってできた山

一方、穴の開いた板から袋に入った歯科用型取り材を押し出してみます(写真④)。型取り材がどんどん噴き出して高まりができます。地球の中にあるマグマが、地面に出てきたり土地を押し上げたりしてできたのが『火山活動によってできた山』です。



『板を押し出した力』や『袋を押し出した力』は『地球の中の力』です。2つの山の違いとは？

盛り上がった山と火山との違いは何を調べると分かるのでしょうか。火山以外の土地は、長い年月をかけて堆積した砂や泥からできた石が層になってできています。盛り上がった山には、このような地層が見られません。

一方、火山活動によってできた山はマグマからできた石がたくさん見られ

ます。このような石には、キラキラと光る角ばった鉱物や透明なガラスのように見える鉱物が入っています。山に行くと、崖や地面にたくさん石を見ることが出来ます。この石を観察し、キラキラと光る鉱物が見られたら、マグマからできた石であり、火山活動によりできた山です。砂や泥などが固まった石や地層を見ることができれば、土地が盛り上がった山と考えることが出来ます。

火山には、噴出した軽石や火山灰などが周辺に見られます。温泉がわき出していることもあるでしょう。マグマからできた石は、こするとちよつと臭いが違います。

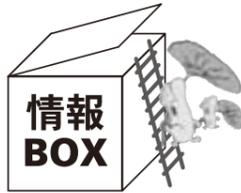
防災キャンプではサンプルの石をこすって臭いを嗅ぎ石の種類を確かめました(写真⑤)。

ぜひ近くの山に足を運んで、火山なのか、土地が盛り上がった山なのか、調べてみませんか。



詳細 役場総務課企画財政室

☎25-12141 内線319



お知らせ

2011オンネトー物語

神秘の湖オンネトーを会場に、自然を満喫するイベントが行われます。

日時 9月25日(日) 午前9時30分～午後2時

場所 オンネトー国設野営場

内容 (雨天の場合は一部内容を変更して実施します)

・自然ふれあい教室 (定員各50人)

オンネトーの散策路で森に親しむ教室を開催します。小学生から大人までどなたでも参加できます。9月16日(金)までにあしよろ観光協会にお申し込みください。また、当日会場でも受け付けます。

①雌阿寒岳登山コース

①受付：午前6時～6時30分 雌阿寒温泉前広場

②オンネトー湖岸遊歩道コース

③湯の滝遊歩道コース

②③受付：午前9時30分～10時 野営場

・オンネトーコンサート

・フォトコンテスト作品展

・あしよろ観光協会出店コーナー、農産物無料試食および特売コーナー

※無料送迎バス運行

銀河ホール21 → オンネトー野営場 → 銀河ホール21

8:30発 9:30着 14:15発 15:15着

詳細 あしよろ観光協会 ☎25-6131

本別から

第40回本別町音楽祭

町内の各団体、サークルの皆さんが一堂に会し、日ごろの活動の成果を披露します。プラスバンド、ギター、ピアノ演奏等秋の夜長に、美しい音色、歌声をお楽しみください。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 9月24日(土) 午後6時開演

場所 本別町中央公民館大ホール

出演団体

本別ジュニアアンサンブル、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、藤井ピアノ教室、本別プラスアンサンブル、十勝S'African、吉田安孝、東海林定一

詳細 本別町中央公民館内文化振興担当

☎22-5111

陸別から

「とちかち2011」ラリー

2011年JMRC北海道ラリーシリーズ第7戦となる、陸別サーキット周辺の林道などを利用したラリー(とちかち2011)が開催されます。

ラリー北海道とは違った走りをぜひご観戦ください。

日時 9月25日(日)午前9時スタート

場所 宇遠別イベント広場陸別サーキット

料金 無料

詳細 陸別町役場産業振興課

☎27-2141

【今後の陸別サーキットスケジュール】

・10月1日(土) ラリー北海道2011

・10月9日(日) クロスカントリーエンデューロ

新人を紹介します



香川 隆信

特別養護老人ホーム介護士

・年齢 41歳 ・出身 池田町
・趣味 献血(妹を白血病で亡くしているため)

他町村で生活するのは大学生以来なので不安もありますが、足寄の生活にも早く慣れ、多くの方々と接したいと思っています。

標 高が高くなると気温が下がり、風が強くなるので、強くなるストレスに応じて樹高は低くなり、樹の種類が変わっていきます。標高400mに満たない九大演習林の天然林には落葉広葉樹林が広がっています。市街地から雌阿寒岳に向かうと常緑針葉樹のアカエゾマツやトドマツが少しずつ混ざり始め、雌阿寒岳の麓にはトドマツと広葉樹の針広混交林や足寄の観光資源でもある立派なアカエゾマツの純林が見られます。キャンプ場から登ると、トドマツと広葉樹の混交林は徐々にアカエゾマツ林に置き換わり、樹高が低くなっていきます。やがてハイ

詳細 九州大学北海道演習林
☎25-2608

マツが見られるようになります。さらに登ればハイマツは人の背丈よりも低くなり、最後には連続した林冠が維持できずに点在するようになります。このような場所を森林限界といい、ハイマツは代表的な森林限界の樹木です。森林限界を超えると夏の短い活動期間しかもたない高山植物の世界になります。気温だけではなく火山ガスも樹木にはストレスです。弟子屈町の硫黄山では標高たった150mほどで森林限界のハイマツとイソツツジの植生が見られます。

自然探訪

第75回『標高と植生』

(九州大学北海道演習林 菱拓雄)



雌阿寒岳は1日で森林の垂直分布を体験できるすばらしい山です

マツが見られるようになります。さらに登ればハイマツは人の背丈よりも低くなり、最後には連続した林冠が維持できずに点在するようになります。このような場所を森林限界といい、ハイマツは代表的な森林限界の樹木です。森林限界を超えると夏の短い活動期間しかもたない高山植物の世界になります。気温だけではなく火山ガスも樹木にはストレスです。弟子屈町の硫黄山では標高たった150mほどで森林限界のハイマツとイソツツジの植生が見られます。

みんなの国民年金

納付にはお得な前納割引制度をご利用ください

国民年金は、月々の保険料をまとめて支払うことで、保険料がお安くなる前納割引制度があります。

国民年金月額(平成23年度)は、15,020円で、年間180,240円になります。お得な前払い(前納)制度をぜひご利用ください。

・口座振替による前納

1カ月前納制度をご利用になると、月々の保険料から50円が割り引かれます。また、6カ月分前納制度(4月から9月分、10月から3月分)は保険料が1,020円(1カ月170円)、1年前納制度をご利用になると3,780円(1カ月315円)が割り引かれます。

・現金支払いによる前納

6カ月分前納制度をご利用になると730円(1カ月約121円)が、また、1年前納すると3,200円(1カ月約266円)が割り引かれます(6カ月と1年以外でも、ご希望月からの前納が可能です)。

平成23年度 国民年金保険料額・割引額

支払い方法	1カ月分	6カ月分	1年分
月々支払	15,020円	90,120円	180,240円
口座振込	14,970円	89,100円	176,460円
割引額	△50円	△1,020円	△3,780円
現金支払い	—	89,390円	177,040円
割引額	—	△730円	△3,200円

日本年金機構ホームページアドレス
<http://www.nenkin.go.jp>

詳細

帯広年金事務所

☎0155-2518111

役場住民課住民室戸籍年金担当

☎25-2141内線211

本別から

第40回本別町音楽祭

町内の各団体、サークルの皆さんが一堂に会し、日ごろの活動の成果を披露します。プラスバンド、ギター、ピアノ演奏等秋の夜長に、美しい音色、歌声をお楽しみください。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 9月24日(土) 午後6時開演

場所 本別町中央公民館大ホール

出演団体

本別ジュニアアンサンブル、本別中学校吹奏楽部、本別高等学校吹奏楽部、藤井ピアノ教室、本別プラスアンサンブル、十勝S'African、吉田安孝、東海林定一

詳細 本別町中央公民館内文化振興担当

☎22-5111

陸別から

「とちかち2011」ラリー

2011年JMRC北海道ラリーシリーズ第7戦となる、陸別サーキット周辺の林道などを利用したラリー(とちかち2011)が開催されます。

ラリー北海道とは違った走りをぜひご観戦ください。

日時 9月25日(日)午前9時スタート

場所 宇遠別イベント広場陸別サーキット

料金 無料

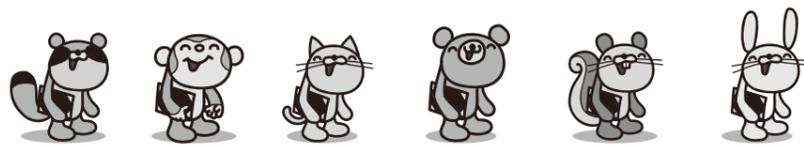
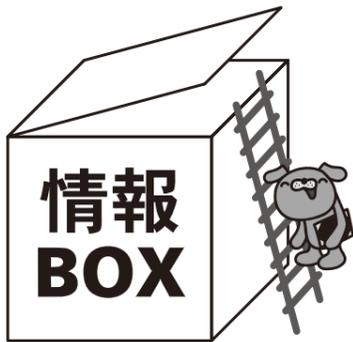
詳細 陸別町役場産業振興課

☎27-2141

【今後の陸別サーキットスケジュール】

・10月1日(土) ラリー北海道2011

・10月9日(日) クロスカントリーエンデューロ



募 集

国民健康保険被保険者証の更新について

国民健康保険に加入している皆さんの被保険者証は、9月30日が有効期限となっています。新しい被保険者証は9月30日までにお手元に届くようにします。なお、有効期限を経過した古い被保険者証は廃棄してください（返却の必要はありません）。

※国民健康保険税の滞納が続いている世帯は、郵送ではなく役場住民課住民室保険担当窓口で被保険者資格証または短期証の交付対象となりますので、別途お知らせします。

詳細 役場住民課住民室保険担当
☎25-2141内線215

けんこう貯筋教室

『以前に比べ、体力が落ちた』『年とともに身体が衰えた』など健康に不安を感じている方、一緒に健康づくりに取り組んでみませんか。全7回のプログラムですが途中からの参加も可能です。

初回日時 9月27日(火)
午前10時-11時30分

内 容 体力測定、運動
場 所 町民センター

【2回目以降の予定】
10月11日(火)、24日(月)
11月8日(火)、22日(火)、28日(月)
12月6日(火)

初回申込期限 9月16日(金)
申込先・詳細 役場福祉課
地域包括支援センター

☎25-9200

九州大学公開講座

日 時 10月1日(土)午後5時-2日(日)午後3時30分
場 所 九州大学北海道演習林
内 容 講義、天然林散策、野外体験実習
対 象 高校生以上、定員15人
受 講 料 2,000円
申込締切 9月20日(火)
申込先・詳細 九州大学北海道演習林
☎25-2608

九州大学農学研究院と足寄町との協力協定にもとづく講演会

日 時 10月20日(木)
午後6時-8時
場 所 あしよろ銀河ホール21
テ ー マ 地域の生物資源を活かし環境を守る

講演1：自然の恵みを科学する
講演2：日本の森林資源の実態について

詳 細 九州大学北海道演習林
☎25-2608

農業委員会からのお知らせ

農地の売買や賃貸借、贈与など農地の取引をするときは、農地法第3条により農業委員会の許可を受けることが必要です。許可を受けずに農地を引き渡しても、所有権の移転はできません。

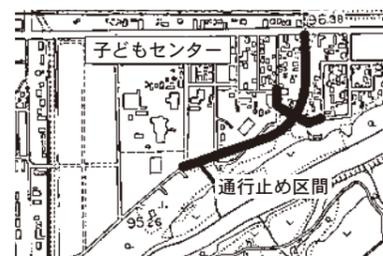
農業委員会総会は毎月1回開催しており、誰でも傍聴ができます。開催日など、詳しくは町ホームページでご確認ください。

詳 細 農業委員会事務局
☎25-2141内線283

通行規制のお知らせ

道路工事のため次のとおり通行止めを行います。なお、通行禁止区間であっても区域内住民のために必要と認められる交通は確保します。

工事箇所
・北5条3号通
・北川沿1号通



工事期間 平成24年1月30日(月)まで
詳 細 建設課建設室
☎25-2141内線374

東京と足寄を結ぶふるさと会について

第32回東京と足寄を結ぶ・ふるさと会を10月7日(金)に東京都で開催します。毎年多くの方が参加し、交流、交歓を図っています。

東京都や近県に住む足寄町出身やゆかりのある、ふるさと会に登録されていない方のお名前と住所をお知らせください。

また、町内から参加を希望する方は、ご連絡ください。後日、案内文を郵送いたします。

なお、町ホームページ (<http://town.ashoro.hokkaido.jp>) に詳細を掲載しています。

詳 細 役場総務課総務室広報広聴担当
☎25-2141内線334

10月17日-23日は行政相談週間

「道路がでこぼこになっていて通行に支障がある」「不便な場所に設置されている郵便ポストを移設してほしい」など、国の行政全般についての苦情や意見、要望などをお受けするため行政相談所を開設します。相談は無料で秘密は守ります。気軽にお立ち寄りください。

行政相談委員による相談

行政相談週間に当たり、本町の行政相談委員先崎三朗(南1条4丁目☎25-4974)が相談所を開設します。

日時・場所 10月17日(月) 午後1時-4時
社会福祉協議会
(心配ごと相談と合同開催)

行政苦情110番
☎0570-090110
詳 細 釧路行政評価分室
☎0154-23-7136

くらしのよろず無料相談会

『親の財産を相続したが、手続きや税金はどうすれば…』『サラ金や借金が返せなくなった』『突然解雇されて、困った』など、生活にまつわる疑問や悩みについて、弁護士や税理士などの専門家による無料相談会を開催します。お気軽にご利用ください。

日 時 9月16日(金)
午前10時-午後4時

※受け付けは、午後3時まで
場 所 とかちプラザ

詳 細 くらしのよろず相談会
実行委員会
☎0155-25-7121

障がい者就労支援ネットワークセミナー

障がいのある方の職業的社会的参加の実現を目指し、セミナーを開催します。

障がいをお持ちの方だけではなく、企業の方からの障がい者の雇用に関するご相談などもお受けいたします。気軽にご参加ください。

日 時 9月26日(月)
午後1時-2時
就労・雇用相談
※個別相談のため、事前申し込みが必要です。
午後2時30分-3時20分
就労セミナー
午後3時30分-4時30分
意見・情報交換

場 所 陸別町保健福祉センター
申込期限 9月22日(木)
申込先・詳細 十勝障がい者就業・生活支援センターだいち
☎0155-24-8989

高次脳機能障がい者のつどい

頭部外傷や脳血管障害などが原因で、高次脳機能障害をお持ちの方を対象に、交流会を開催します。一緒に体験や思いを共有しませんか。

日 時 毎月第3火曜日
午後1時30分-3時
内 容 軽スポーツや調理等のプログラムを通じた交流

対 象 64歳以下で、高次脳機能障害をお持ちの方
場 所 帯広保健所
申込先・詳細 帯広保健所
子ども・健康推進課
☎0155-26-9084

ラリー北海道2011

今年もラリー北海道が開催されます。町内林道での競技のほか、コース間を移動するラリーカーが市街地を通過しますので、応援をお願いします。

なお、町内では1日目の林道コース・アショロロングと2日目の林道コース・パウセカムイでSS(スペシャルステージ、競技コース)を観戦できます。観戦するには、チケットが必要です。

競技日程 10月1日-2日
詳 細 役場経済課商工観光担当
☎25-2141内線253

ひとり親家庭のお母さん向けセミナーの開催

日 時
・9月15日(木) 午前10時-正午
・10月20日(木) 午後1時30分-3時30分

場 所 帯広市グリーンプラザ
内 容 ビジネスマナー講座
定 員 各回10人
申込期限 各開催日の2日前
申込先・詳細 母子家庭等就業・自立支援センター
☎0155-20-7751

ふるさとの歴史を振り返ってみませんか?

足寄百年史
(上・下巻・資料編)
好評発売中

ご購入は…役場総務課総務室
広報広聴担当まで

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室広報広聴担当まで

曾根 ^{ももあ}桃愛^{ちゃん}

(平成21年9月23日生まれ)
最近はおしゃべりも上手になり、お兄ちゃんのまねばかりしています。たくさん遊んで食べて毎日元気いっぱいです。これからも元気に育ってね。

国彦・留美^{さん}の子
(下愛冠1丁目)



佐藤 ^{みく}実空^{ちゃん}

(平成21年9月16日生まれ)
外でブランコや滑り台に乗ることが大好きです。最近おしゃべりやお兄ちゃんのまねを良くするようになりました。元気で優しい子になってほしいです。

和弘・亜樹^{さん}の子
(茂喜登牛)



海藤 ^{るき}琉希^{ちゃん}

(平成21年9月13日生まれ)
うち一番の暴れん坊。外遊びが大好きで、よく裸足で外へ出て行ってしまいます。これからも元気いっぱい健康な男の子に育ってほしいです。

崇・伴美^{さん}の子
(南6条7丁目)

ひとのうごき

8月末の住民基本台帳

人口	7,714人	(-19)
男	3,740人	(-11)
女	3,974人	(-8)
世帯	3,610世帯	(-9)

()内は前月比

今月の表紙

8月15日に行われた「足寄ふるさと盆踊り」でのスナップです。

(⇒6-7ページ)

編集後記

☆うちの人気者の取材で、小さい子に会えるのがとても楽しみです。
☆意思の疎通もできる2歳ごろのお子さんって、本当にかわいいですよ。
☆ぷくぷくのほっぺたやムチムチの腕など、写真を撮りながらも、ついつい触りたくなっちゃいます。
☆我が家の元(?)人気者(7歳・11歳)には、もうすでにその面影はないので、なおさらです。
☆決して無理には触りませんので、うちの人気者への掲載希望をお待ちしています。

広報あしよろ9月号 No.701

発行：足寄町
編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線334
〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>